

ガラスハウス利活用事業に係る優先交渉権者の選定・認定結果概要

1 認定委員会（6月30日）

（敬称略）

役職	氏名	役職等
委員長	山田 賢一	津山市副市長
委員	野口 薫	津山市企画財政部長
	玉置 晃隆	津山市総務部長
	山本 将司	津山市都市建設部長
	落合 勉	津山市総務部参与 兼 契約監理室長

2 選定委員会（6月25日）

（敬称略）

役職	氏名	役職等
委員長	玉置 晃隆	津山市総務部長
委員	野口 薫	津山市企画財政部長
	山本 将司	津山市都市建設部長
	落合 勉	津山市総務部参与 兼 契約監理室長
	大川 圭介	中・高等教育機能のあり方に関する有識者会議委員 大川圭介公認会計士事務所代表
	藏田 幸三	津山市FM委員会委員長 （一社）地方自治体公民連携研究財団代表理事

3 施設概要

(1) 施設名

ガラスハウス

(2) 所在地

津山市大田512番地

(3) 施設規模等

敷地面積 約12,000㎡

延床面積 5,276.15㎡

構造規模 鉄筋コンクリート造＋鉄骨造 地下1階、地上2階建て

#### 4 優先交渉権者の候補者

(1) 団体名

株式会社G l o b e

(2) 代表者名

代表取締役 関元 崇志

(3) 主たる事務所の所在地

岡山県津山市京町80番地

#### 5 公募の概況

(1) 応募団体数

1 団体

(2) 応募団体名

株式会社G l o b e

(3) 募集日程

実施方針の公表	令和3年3月24日
特定事業の選定	令和3年4月15日
募集要項の公表	令和3年4月15日
質問の受付期間	令和3年4月16日～5月21日
現地説明会の期間	令和3年4月16日～5月21日
参加登録書類の締切り	令和3年6月 2日
企画提案書類の締切り	令和3年6月15日
プレゼンテーション及び ヒアリングの実施	令和3年6月25日

## 6 選定の概況

ガラスハウス利活用事業事業者募集要項（令和3年4月15日公表）に基づき、応募団体について評価を行い、優先交渉権者として相応しいと評価された株式会社Globeを選定したものです。

### (1) 選定理由について

選定委員会において、応募団体の概要、提案者の業務遂行能力、参入の姿勢、サービス購入料及び運営権対価の価格、企画提案の内容等、審査基準に基づき総合的に評価し、選考を行いました。その結果、次の理由により、株式会社Globeが、優先交渉権者とするに相応しい団体であると評価されました。

- ・業務遂行能力については、施設の管理運営能力及び類似業務の実績が優れていると評価されました。
- ・参入の意欲については、本市や地域に対する貢献への思い、本事業の目的・趣旨の理解度、広い視点による施設の利活用等、本事業に対する熱意が高いと評価されました。
- ・経営計画については、事業の収益性や継続性、今後の事業の成長や発展が見込まれるものと評価されました。
- ・企画提案については、ガラスハウスの特徴を活かした提案であること、事業コンテンツの魅力性、近隣のこども施設や学校などとの地域連携が見込まれる提案であること等が評価されました。また、市内だけでなく市外・県外からの集客が見込まれることなどから、域内消費の拡大や地域経済への貢献が優れていると評価されました。
- ・付帯事業については、グリーンヒルズ津山の特性を活かしたイベント等、公園全体の賑わい創出につながる提案であると評価されました。

### (2) 審査結果一覧

審査結果については以下のとおりです。

審査項目	配点	株式会社Globe
提案者の業務遂行能力に関する事項	20点	13.2点
参入の意欲に関する事項	10点	7.2点
経営計画に関する事項	30点	19.3点
サービス購入料の額に関する事項	15点	15.0点
運営権対価の額に関する事項	15点	15.0点
企画提案に関する事項	60点	39.3点
小計	150点	109.0点
付帯事業に関する事項（加点要素）	10点	6.5点
合計	160点	115.5点

※ 評価点数は審査員6名の平均値（小数点第2位以下を四捨五入）

※ 候補者の選定には、加点要素を除く一定水準（150点×60%=90点）以上の評価点の取得を要件とする